

□議員名：中岡英二

1 山陽小野田市民病院の経営改善について

論点	市民病院と民間病院との役割の違いは何か。
回答	公立病院の役割としては、民間病院で対応が困難な医療の提供を行っている。当院では不採算部門といわれる小児医療・救急医療・周産期医療に力を入れ、新興感染症等の対応や災害医療への対応をしている。

論点	市民病院での新規入院患者を増やしていく施策はあるのか。
回答	施策として広報活動・医療機関への訪問活動・地域医療連携室の機能充実強化などがある。広報活動として、病院ホームページ・病院広報紙・市広報紙で情報発信している。訪問活動として、市内開業医を年4回訪問し、紹介患者の獲得に努めている。

論点	医師・看護師・薬剤師不足をしている現状とその対策はあるのか。
回答	大学の各講座への訪問活動を定期的に行っており、当院の状況や今後の診療方針等について説明し、医師の派遣協力を行っている。看護師・薬剤師の人材確保は学校訪問や就職説明会に参加し、当院の魅力を発信している。

論点	産婦人科と透析医療をどのようにPRし、患者数の増加に繋げていくのか。
回答	合併症を伴って妊婦に対応できる病院は、宇部・山陽用小野田医療圏では山口大学と当院のみである。無痛分娩についてもPRしていく。透析においても合併症の方への対応ができる総合病院であることをPRしていく。

論点	入院患者の転倒・転落のリスクは、どのように管理され、その対策はあるのか。
回答	入院時に注意事項・防止策を説明し、更に転倒・転落アセスメントスコアシートを用いて、患者の危険度を評価し、危険度に沿って

	防止策を作成して対応している。
--	-----------------

論点	訪問看護ステーションの利用状況はどうなっているのか。
回答	9月からの実績として、9月は1名、10月は4名、11月は4名の申込者があった。亡くなられた方もあり、11月末までの利用者は6名で順調に推移している。

論点	一般会計からの繰入金が増加している要因は何か。
回答	要因として、企業債の管理償還金などの所要額が増加したこと、救急医療の確保に要する経費が増加したことが要因である。

論点	患者医療費自己負担額の未収金はどうするのか。
回答	退院時から1週間経過した時点で、電話での督促、本人への文書督促、連帯保証人への督促、自宅訪問、住所変更による督促先不明者への追跡等の対策を講じている。